

北小ものがたり

竜王北小学校
研究通信 &
学校だより
第8号



平成30年12月19日

今学期もありがとうございました

平成30年も、あと十数日となりました。いつもの年の瀬と特に変わりはないのですが、『平成最後の年末…』と言われると、感慨深く思わなければいけないようにも思うこの頃です。

さて、学校の方も、2学期の学習・行事などが順調に進み、あと2日で終業式となります。無事にここまで来られましたこと、保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげと、深く感謝いたします。22日から『平成最後の冬休み』ですが、いつもと変わらず、健康で安全で有意義なお休みにしてほしいと願います。良いお年をお迎えください。

2学期に2回授業研究会が行われました

以前お伝えしたとおり、本校では「確かな学力を身につけた子どもの育成」～子どもの主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を通して～をテーマに、全職員で研究を進めています。現状の課題を解決する手立てを探るために、理論的な研究と実践的な研究をバランス良く行っています。

1学期から夏休みにかけての理論研究を受け、今学期は授業を通しての研究に歩みを進めることができました。10月10日（水）に1年3組で道徳「ねずみくんのきもち」を、11月14日（水）に4年2組で算数「広さを調べよう」を、全職員と指導・助言をいただいている山梨県総合教育センターの指導主事と山梨大学の教育実践総合センターの教授に公開いたしました。

授業をする教員も子どもたちも、大勢に授業を参観に来られると緊張感に包まれます。でも、すぐに普段どおりの雰囲気になり、研究の成果とも言える『子どもたちの学びが深まっていく授業』が展開されました。授業後には、その授業を参観した全員が参加しての研究会（反省会のようなもの）を行いました。指導・助言の先生方に、『良い授業でした』とお褒めの言葉をいただき、また、『こうすると更に良くなります』というアドバイスもいただけて、次につながる授業研究会となりました。



1-3の授業の様子



4-2の授業の様子



授業後の研究会の様子

今月の詩

「冬休み」という、今の時季にぴったりの詩が12月の詩でした。

作者のねじめ正一さんは、東京生まれの詩人・小説家です。児童書も多数著している方です。

大人になると、子どもの頃の気持ちを忘れてしまいがちですが、私もやはり冬休み前が一番ワクワクしたことを思い出しました。そして、お年玉をあげる立場になってからは、その逆の気分になり現在に至っています。



冬休み

ねじめ 正一

春休みは

短くて

ほわほわして

何もしないうちに

終わっちゃうし

夏休みは

長くて

すいかばかり食べていると

あつという間に

二学期が

やってきちゃうけど

冬休みは

寒いのがまんすれば

お年玉が

ばんばんたまつて

ほくは冬休みが

一番好き

(文責：校長 廣瀬)